

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2005 年 2 月 24 日 (24.02.2005)

PCT

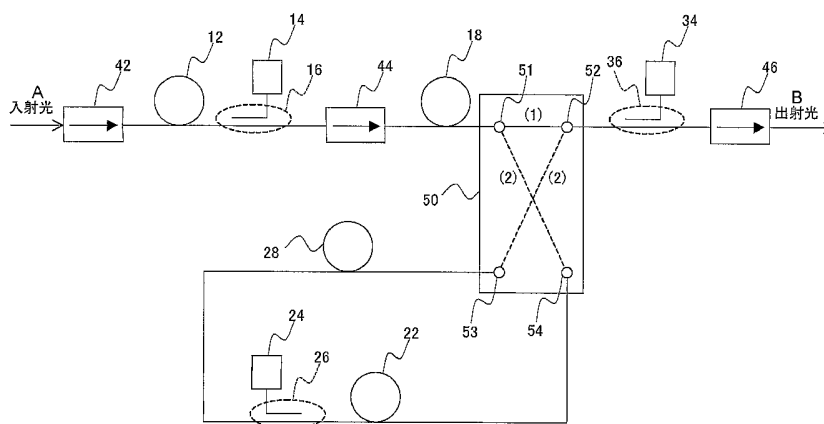
(10) 国際公開番号
WO 2005/018065 A1

- (51) 国際特許分類: H01S 3/10, 3/067 (72) 発明者; および
(21) 国際出願番号: PCT/JP2004/011798 (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 関 淳 (SEKI, Atsushi) [JP/JP]; 〒1790071 東京都練馬区旭町一丁目 3 2 番 1 号 株式会社アドバンテスト内 Tokyo (JP).
(22) 国際出願日: 2004 年 8 月 11 日 (11.08.2004)
(25) 国際出願の言語: 日本語 (74) 代理人: 細田 益稔 (HOSODA, Masutoshi); 〒1070052 東京都港区赤坂二丁目 1 7 番 2 2 号 赤坂ツインタワー本館 1 1 F Tokyo (JP).
(26) 国際公開の言語: 日本語
(30) 優先権データ: 特願2003-292765 2003 年 8 月 13 日 (13.08.2003) JP (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE,
(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社アドバンテスト (ADVANTEST CORPORATION) [JP/JP]; 〒1790071 東京都練馬区旭町一丁目 3 2 番 1 号 Tokyo (JP).

/ 続葉有 /

(54) Title: OPTICAL AMPLIFIER APPARATUS

(54) 発明の名称: 光増幅装置



A... INCIDENT LIGHT
B... OUTGOING LIGHT

(57) Abstract: An optical amplifier apparatus capable of dealing with different wavelength bands and capable of outputting an amplified light with reduced noise for any one of the wavelength bands. In a case of amplifying a light of C-band, terminals (51,52) of an optical switch (50) are connected to each other. An incident light is amplified by a first front-end optical fiber amplifier (12) and a first back-end optical fiber amplifier (18). The amplified light passes via the terminals (51,52) and through a back-end WDM coupler (36) and goes out of the optical amplifier apparatus (1). In a case of amplifying a light of L-band, terminals (51,54) of the optical switch (50) are connected to each other, while terminals (52,53) thereof are connected to each other. An incident light is amplified by the first front-end optical fiber amplifier (12) and first back-end optical fiber amplifier (18), passing via the terminals (51,54), thereafter being further amplified by a second front-end optical fiber amplifier (22) and a second back-end optical fiber amplifier (28). The thus amplified light then passes via the terminals (53,52) and through the back-end WDM coupler (36) and goes out of the optical amplifier apparatus (1).

(57) 要約: 異なる波長帯域に対応でき、いずれの波長帯域においてもノイズを低減した増幅光を出力できる光増幅装置を提供する。Cバンドの光を増幅する場合、光スイッチ50の端子51と端子52とを接続する。第一前置光ファイバ増幅器12、第一後置光ファイバ増幅器18が入射光を増幅する。増幅された光は、端子51と端子52とを経由して、後置WDMカプラ36を通過して、光増幅装置1から出射され

/ 続葉有 /



SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US,
UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN,
TD, TG).

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF,

添付公開書類:

— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

る。Lバンドの光を増幅する場合、光スイッチ50の端子51と端子54とを接続し、端子52と端子53とを接続する。第一前置光ファイバ増幅器12、第一後置光ファイバ増幅器18、(端子51と端子54とを經由)第二前置光ファイバ増幅器22、第二後置光ファイバ増幅器28が入射光を増幅する。増幅された光は、端子53と端子52とを經由して、後置WDMカプラ36を通過して、光増幅装置1から出射される。

1

明 細 書

光増幅装置

5 技術分野

本発明は、光の増幅に関する。

背景技術

- 10 従来より、入射光の波長帯域が、 $1.55\mu\text{m}$ 帯 ($1.53\mu\text{m}$ ～ $1.56\mu\text{m}$: Cバンド) および $1.58\mu\text{m}$ 帯 ($1.57\mu\text{m}$ ～ $1.61\mu\text{m}$: Lバンド) のいずれであっても、入射光を増幅できる広帯域光増幅器が知られている (例えば、特許文献1 (特開2001-358389号公報 (要約)) を参照)。

15

- このような広帯域光増幅器は、入射光の波長帯域がCバンドの場合は、入射光を第一 Er(Erbium: エルビウム)添加光ファイバに通して増幅させる。入射光の波長帯域がLバンドの場合は、入射光を第一 Er添加光ファイバに通し、さらに第二 Er 添加光ファイバに通して増幅
20 させる。増幅された光は、増幅光として、広帯域光増幅器から出力される。

- ここで、増幅光のノイズを低減するために、第一 Er 添加光ファイバの前段に、さらに低ノイズ増幅用 Er 添加光ファイバを設けることが考えられる。低ノイズ増幅用 Er 添加光ファイバのゲインを大きく
25 すると、第一 Er 添加光ファイバによるノイズの影響を減らすことが

できる。

しかしながら、第一 Er 添加光ファイバの出力する C バンドの増幅光のノイズを減らすように、第一 Er 添加光ファイバおよび低ノイズ増幅用 Er 添加光ファイバの長さを決定すると、第一 Er 添加光ファイバの出力のゲインが小さくなる。よって、第二 Er 添加光ファイバによるノイズの影響が大きくなるため、L バンドの増幅光のノイズを減らすことができない。

10 一方、L バンドの増幅光のノイズを減らすために、第一 Er 添加光ファイバおよび低ノイズ増幅用 Er 添加光ファイバの長さを長くすれば、C バンドの増幅光のノイズを減らすことができない。

15 このように、C バンドの増幅光および L バンドの増幅光の双方のノイズを低減化することは困難である。

そこで、本発明は、異なる波長帯域に対応できる光増幅器であって、いずれの波長帯域においてもノイズを低減した増幅光を出力できる光増幅器を提供することを課題とする。

20

発明の開示

本発明による光増幅装置の一態様によれば、入射光を増幅する第一前置光ファイバ増幅器と、第一前置光ファイバ増幅器に与える第一励起光を生成する第一前置励起光源と、第一励起光を第一前置光ファイバ増幅器に導入する第一前置励起光導入手段と、第一前置光ファイバ

25

3

増幅器の出射光を増幅する第一後置光ファイバ増幅器と、第二前置光ファイバ増幅器と、第二前置光ファイバ増幅器に与える第二励起光を生成する第二前置励起光源と、第二励起光を、第二前置光ファイバ増幅器に、入射側とは反対側である出射側から導入する第二前置励起光
5 導入手段と、第二前置光ファイバ増幅器の出射光を増幅する第二後置光ファイバ増幅器と、第一後置光ファイバ増幅器に与える第三励起光を生成する後置励起光源と、第三励起光を第一後置光ファイバ増幅器に導入する後置励起光導入手段と、(1)第一後置光ファイバ増幅器の出射側と後置励起光導入手段とを接続する、あるいは(2)第一後置
10 光ファイバ増幅器の出射側と第二前置光ファイバ増幅器の入射側とを接続して、第一後置光ファイバ増幅器の出射光を第二前置光ファイバ増幅器によって増幅させる、光接続手段とを備えるように構成される。

上記のように構成された発明によれば、第一前置光ファイバ増幅器
15 は、入射光を増幅する。第一前置励起光源は、第一前置光ファイバ増幅器に与える第一励起光を生成する。第一前置励起光導入手段は、第一励起光を第一前置光ファイバ増幅器に導入する。第一後置光ファイバ増幅器は、第一前置光ファイバ増幅器の出射光を増幅する。第二前置励起光源は、第二前置光ファイバ増幅器に与える第二励起光を生成
20 する。第二前置励起光導入手段は、第二励起光を、第二前置光ファイバ増幅器に、入射側とは反対側である出射側から導入する。第二後置光ファイバ増幅器は、第二前置光ファイバ増幅器の出射光を増幅する。後置励起光源は、第一後置光ファイバ増幅器に与える第三励起光を生成する。後置励起光導入手段は、第三励起光を第一後置光ファイバ増
25 幅器に導入する。光接続手段は、(1)第一後置光ファイバ増幅器の出射側と後置励起光導入手段とを接続する、あるいは(2)第一後置光

4

ファイバ増幅器の出射側と第二前置光ファイバ増幅器の入射側とを接続して、第一後置光ファイバ増幅器の出射光を第二前置光ファイバ増幅器によって増幅させる。

- 5 上記本発明による光増幅装置によれば、第一後置光ファイバ増幅器から第一前置光ファイバ増幅器への光を遮断する光遮断手段を備えることが好ましい。

- 10 上記本発明による光増幅装置によれば、光接続手段は、第一後置光ファイバ増幅器の出射側と第二前置光ファイバ増幅器の入射側とを接続すると共に、第二後置光ファイバ増幅器の出射側と後置励起光導入手段とを接続するように構成することが好ましい。

- 15 上記本発明による光増幅装置によれば、光接続手段が第一後置光ファイバ増幅器の出射側と後置励起光導入手段とを接続する場合に、第一前置光ファイバ増幅器のゲインが、第一後置光ファイバ増幅器におけるノイズを無視できる程度に大きいように構成することが好ましい。

- 20 上記本発明による光増幅装置によれば、光接続手段が第一後置光ファイバ増幅器の出射側と第二前置光ファイバ増幅器の入射側とを接続する場合に、第一前置光ファイバ増幅器のゲイン、第一後置光ファイバ増幅器のゲインおよび第二前置光ファイバ増幅器のゲインを合成した合成ゲインは、第二後置光ファイバ増幅器の出射光のノイズをほぼ保つことができる程度のものであるように構成することが好ましい。

25

上記本発明による光増幅装置によれば、光接続手段が第一後置光フ

5

ファイバ増幅器の出射側と後置励起光導入手段とを接続する場合に、第一後置光ファイバ増幅器の出射光の波長帯域がCバンドであるように構成することが好ましい。

5 上記本発明による光増幅装置によれば、光接続手段が第一後置光ファイバ増幅器の出射側と第二前置光ファイバ増幅器の入射側とを接続する場合に、第二後置光ファイバ増幅器の出射光の波長帯域がLバンドであるように構成することが好ましい。

10 上記本発明による光増幅装置によれば、第一前置光ファイバ増幅器、第一後置光ファイバ増幅器、第二前置光ファイバ増幅器および第二後置光ファイバ増幅器のいずれか一つ以上が、エルビウム添加光ファイバであるように構成することが好ましい。

15 上記本発明による光増幅装置によれば、第一前置励起光源、第二前置励起光源および後置励起光源の生成する光の波長が 980nm であるように構成することが好ましい。

上記本発明による光増幅装置によれば、第二前置光ファイバ増幅器
20 の出射光を増幅して第二後置光ファイバ増幅器に出射する第三前置光ファイバ増幅器と、第三前置光ファイバ増幅器に与える第四励起光を生成する第三前置励起光源と、第四励起光を、第三前置光ファイバ増幅器に、入射側とは反対側である出射側から導入する第三前置励起光導入手段とを備えるように構成することが好ましい。

25

本発明による光増幅装置の他の態様によれば、入射光を増幅する第

6

一光ファイバ増幅器と、第二光ファイバ増幅器と、第一光ファイバ増幅器に与える励起光を生成する後置励起光源と、励起光を第一光ファイバ増幅器に導入する後置励起光導入手段と、(1)第一光ファイバ増幅器の出射側と後置励起光導入手段とを接続する、あるいは(2)第一光ファイバ増幅器の出射側と第二光ファイバ増幅器の入射側とを接続して、第一光ファイバ増幅器の出射光を第二光ファイバ増幅器によって増幅させる、光接続手段とを備えるように構成される。

上記のように構成された発明によれば、第一光ファイバ増幅器は、
10 入射光を増幅する。後置励起光源は、第一光ファイバ増幅器に与える励起光を生成する。後置励起光導入手段は、励起光を第一光ファイバ増幅器に導入する。光接続手段は、(1)第一光ファイバ増幅器の出射側と後置励起光導入手段とを接続する、あるいは(2)第一光ファイバ増幅器の出射側と第二光ファイバ増幅器の入射側とを接続して、第一光ファイバ増幅器の出射光を第二光ファイバ増幅器によって増幅させる。

図面の簡単な説明

20 図1は、本発明の実施形態にかかる光増幅装置1の構成を示す図である。

図2は、本発明の実施形態にかかる光増幅装置1の変形例の構成を示す図である。

図3は、実施例および比較例における波長とゲインとの関係、および波長とノイズ指数との関係を示す図である。

図4は、比較例(第二前置光ファイバ増幅器22が無いもの)の構

成を示す図である。

図 5 は、図 1 に示す光増幅装置 1 の構成要素を一部省略した例を示す図である。

5

発明を実施するための最良の形態

以下、本発明の実施形態を図面を参照しながら説明する。

図 1 は、本発明の実施形態にかかる光増幅装置 1 の構成を示す図である。光増幅装置 1 は、入射した光を増幅して出射する。

光増幅装置 1 は、第一前置光ファイバ増幅器 1 2、第一前置励起光源 1 4、第一 WDM カプラ（第一前置励起光導入手段）1 6、第一後置光ファイバ増幅器 1 8、第二前置光ファイバ増幅器 2 2、第二前置励起光源 2 4、第二 WDM カプラ（第二前置励起光導入手段）2 6、第二後置光ファイバ増幅器 2 8、後置励起光源 3 4、後置 WDM カプラ（後置励起光導入手段）3 6、光アイソレータ 4 2、4 4、4 6、光スイッチ（光接続手段）5 0 を備える。

光増幅装置 1 に入射する入射光は、光アイソレータ 4 2 を通過して、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 に入射する。光アイソレータ 4 2 は、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 の前段に置かれ、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 に入射する方向に光を通すが、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 から出射する方向には光を通さない。

25

第一前置光ファイバ増幅器 1 2 は、光アイソレータ 4 2 を通過した

入射光を増幅して出射する。第一前置光ファイバ増幅器 1 2 は、例えば、Er(Erbium : エルビウム)添加光ファイバである。

第一前置励起光源 1 4 は、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 に与える
5 第一励起光を生成する。

第一 WDM カプラ（第一前置励起光導入手段） 1 6 は、第一前置励起光源 1 4 から第一励起光を受けて、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 に与える。第一 WDM カプラ 1 6 は、第一前置光ファイバ増幅器 1 2
10 の出射側（入射光を受ける側とは反対側）に接続されている。なお、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 の出射光は、第一 WDM カプラ 1 6 を通過する。

第一前置光ファイバ増幅器 1 2 の出射光は、光アイソレータ（光遮
15 断手段） 4 4 を通過して、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 に入射する。光アイソレータ（光遮断手段） 4 4 は、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 の前段に置かれ、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 から第一後置光ファイバ増幅器 1 8 に向けては光を通すが、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 から第一前置光ファイバ増幅器 1 2 に向けては光を通さない。光
20 アイソレータ（光遮断手段） 4 4 により、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 から第一前置光ファイバ増幅器 1 2 に向けて入射する自然放出光が遮断され、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 における不必要な信号 - ASE ビートノイズおよび ASE - ASE 間ビートノイズを低減し、効率的で低ノイズな信号増幅を実現できる。なお、信号とは光増幅装
25 置 1 に入射する入射光のことをいう。

9

第一後置光ファイバ増幅器 18 は、光アイソレータ 44 を通過した光を増幅して出射する。第一後置光ファイバ増幅器 18 は、例えば、Er(Erbium : エルビウム)添加光ファイバである。ただし、第一後置光ファイバ増幅器 18 の励起光は、後置励起光源 34 (端子 51 と端子 52 とが接続されている場合) あるいは第二前置励起光源 24 (端子 51 と端子 54 とが接続されている場合) からもたらされる。

第二前置光ファイバ増幅器 22 は、端子 51 と端子 54 とが接続されている場合に、第一後置光ファイバ増幅器 18 の出射光を増幅して出射する。第二前置光ファイバ増幅器 22 は、例えば、Er(Erbium : エルビウム)添加光ファイバである。

第二前置励起光源 24 は、第二前置光ファイバ増幅器 22 に与える第二励起光を生成する。

15

第二 WDM カプラ (第二前置励起光導入手段) 26 は、第二前置励起光源 24 から第二励起光を受けて、第二前置光ファイバ増幅器 22 に与える。第二 WDM カプラ 26 は、第二前置光ファイバ増幅器 22 の出射側 (端子 54 に接続されている入射側とは反対側) に接続されている。なお、第二前置光ファイバ増幅器 22 の出射光は、第二 WDM カプラ 26 を通過する。

第二後置光ファイバ増幅器 28 は、第二前置光ファイバ増幅器 22 の出射光を増幅して出射する。第二後置光ファイバ増幅器 28 は、例えば、Er(Erbium : エルビウム)添加光ファイバである。ただし、第二後置光ファイバ増幅器 28 の励起光は、後置励起光源 34 (端子 52

25

と端子 5 3 とが接続されている場合) からもたらされる。

後置励起光源 3 4 は、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 に与える第三
励起光 (端子 5 1 と端子 5 2 とが接続されている場合) あるいは第二
5 後置光ファイバ増幅器 2 8 に与える励起光 (端子 5 2 と端子 5 3 とが
接続されている場合) を生成する。

後置 WDM カプラ (後置励起光導入手段) 3 6 は、後置励起光源 3
4 から第三励起光を受けて、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 に与える
10 (端子 5 1 と端子 5 2 とが接続されている場合)。あるいは、後置励起
光源 3 4 から励起光を受けて、第二後置光ファイバ増幅器 2 8 に与え
る (端子 5 2 と端子 5 3 とが接続されている場合)。なお、第一後置光
ファイバ増幅器 1 8 の出射光および第二後置光ファイバ増幅器 2 8 の
出射光は、後置 WDM カプラ 3 6 を通過する。

15

後置 WDM カプラ 3 6 を通過した光は、光アイソレータ 4 6 を通過
する。この光が、光増幅装置 1 の出射光である。光アイソレータ 4 6
は、後置 WDM カプラ 3 6 の後段に置かれ、後置 WDM カプラ 3 6 か
ら出射する方向に光を通すが、後置 WDM カプラ 3 6 に入射する方向
20 には光を通さない。

光スイッチ (光接続手段) 5 0 は、端子 5 1、5 2、5 3、5 4 を
有する。端子 5 1 は、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 の出射側に接続
されている。端子 5 2 は、後置 WDM カプラ 3 6 に接続されている。
25 端子 5 3 は、第二後置光ファイバ増幅器 2 8 の出射側に接続されてい
る。端子 5 4 は、第二前置光ファイバ増幅器 2 2 の入射側に接続され

ている。

光スイッチ 50 は、(1) 端子 51 と端子 52 とを接続する、あるいは (2) 端子 51 と端子 54 とを接続すると共に、端子 52 と端子 53 とを接続する。

(1) 端子 51 と端子 52 とを接続する場合、第一後置光ファイバ増幅器 18 の出射側と、後置 WDM カプラ 36 とが接続される。

10 (2) 端子 51 と端子 54 とを接続すると共に、端子 52 と端子 53 とを接続する場合、第一後置光ファイバ増幅器 18 の出射側と、第二前置光ファイバ増幅器 22 の入射側とが接続されると共に、後置 WDM カプラ 36 と第二後置光ファイバ増幅器 28 の出射側とが接続される。

15

次に、本発明の動作を説明する。

光増幅装置 1 は、 $1.55\mu\text{m}$ 帯 ($1.53\mu\text{m} \sim 1.56\mu\text{m}$: C バンド) の入射光を受けた場合は、端子 51 と端子 52 とを接続して、C バンドの出射光を出射する。 $1.58\mu\text{m}$ 帯 ($1.57\mu\text{m} \sim 1.61\mu\text{m}$: L バンド) の入射光を受けた場合は、端子 51 と端子 54 とを接続すると共に、端子 52 と端子 53 とを接続して、L バンドの出射光を出射する。

25 (1) 端子 51 と端子 52 とを接続する場合 (C バンドの入射光を増幅する)

12

Cバンドの入射光が光増幅装置 1 に入射される。入射光は、光アイソレータ 4 2 を通過して、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 に入射される。

5 第一前置励起光源 1 4 は、第一励起光を生成し、第一励起光は第一 WDM カプラ 1 6 により第一前置光ファイバ増幅器 1 2 に導入される。これにより、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 は励起され、入射光を増幅できる。

10 第一前置光ファイバ増幅器 1 2 は、入射光を増幅して出射する。出射光は、第一 WDM カプラ 1 6 を通過し、光アイソレータ（光遮断手段） 4 4 を通過する。この光は、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 に入射される。

15 後置励起光源 3 4 は、第三励起光を生成し、第三励起光は後置 WDM カプラ 3 6 により、端子 5 2 と端子 5 1 とを介して、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 に導入される。これにより、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 は励起され、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 の出射光を増幅できる。

20

なお、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 および第一後置光ファイバ増幅器 1 8 は、Cバンドの入射光を低ノイズ増幅するために最適化されたファイバ長を有している。さらに、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 のゲイン（Cバンドの入射光を増幅している場合）は、第一後置光フ
25 アイバ増幅器 1 8 におけるノイズを無視できる程度に大きい。

13

第一後置光ファイバ増幅器 1 8 の出射光は、端子 5 1 と端子 5 2 とを經由して、後置 WDM カプラ 3 6 を通過し、さらに光アイソレータ 4 6 を通過する。この光が、光増幅装置 1 の出射光である。

- 5 Cバンドの入射光を増幅する場合、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 および第一後置光ファイバ増幅器 1 8 のファイバ長などを適宜決定することにより、ノイズを低減できる。

- (2) 端子 5 1 と端子 5 4 とを接続すると共に、端子 5 2 と端子 5
10 3 とを接続する場合 (Lバンドの入射光を増幅する)

Lバンドの入射光が光増幅装置 1 に入射される。入射光は、光アイソレータ 4 2 を通過して、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 に入射される。

- 15 第一前置励起光源 1 4 は、第一励起光を生成し、第一励起光は第一 WDM カプラ 1 6 により第一前置光ファイバ増幅器 1 2 に導入される。これにより、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 は励起され、入射光を増幅できる。

- 20 第一前置光ファイバ増幅器 1 2 は、入射光を増幅して出射する。出射光は、第一 WDM カプラ 1 6 を通過し、光アイソレータ (光遮断手段) 4 4 を通過する。この光は、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 に入射される。

- 25 第二前置励起光源 2 4 は、第二前置光ファイバ増幅器 2 2 に与える第二励起光を生成する。第二励起光は、第二 WDM カプラ 2 6 により、

14

- 第二前置光ファイバ増幅器 22 に導入される。第二励起光は、第二前置光ファイバ増幅器 22 の出射側から入射側へと透過していき、さらに端子 54 と端子 51 とを介して（この際、光スイッチ 50 の挿入損失を受ける）、第一後置光ファイバ増幅器 18 に導入される。これにより、第一後置光ファイバ増幅器 18 は励起され、第一前置光ファイバ増幅器 12 の出射光を増幅できる。さらに、第二前置光ファイバ増幅器 22 は励起され、第一後置光ファイバ増幅器 18 の出射光を増幅できる。第一後置光ファイバ増幅器 18 および第二前置光ファイバ増幅器 22 は、単一の光源（第二前置励起光源 24）により制御できる。
- 10 なお、第一前置光ファイバ増幅器 12 は、光アイソレータ 44 よりも前にあるので、第二前置励起光源 24 による影響を受けない。

- 第一後置光ファイバ増幅器 18 の出射光は、端子 51 と端子 54 とを経由して、第二前置光ファイバ増幅器 22 に入射する。第二前置光ファイバ増幅器 22 は、第一後置光ファイバ増幅器 18 の出射光を増幅する。第二前置光ファイバ増幅器 22 の出射光は、第二 WDM カプ
- 15 ラ 26 を通過し、第二後置光ファイバ増幅器 28 に入射する。

- 後置励起光源 34 は、第二後置光ファイバ増幅器 28 に与える励起
- 20 光を生成する。励起光は、後置 WDM カプラ 36 により、第二後置光ファイバ増幅器 28 に導入される。これにより、第二後置光ファイバ増幅器 28 は励起され、第二前置光ファイバ増幅器 22 の出射光を増幅できる。

- 25 第二後置光ファイバ増幅器 28 は、第二前置光ファイバ増幅器 22 の出射光を増幅する。第二後置光ファイバ増幅器 28 の出射光は、端

15

子 5 3 と端子 5 2 とを經由して、後置 WDM カプラ 3 6 を通過し、さらに光アイソレータ 4 6 を通過する。この光が、光増幅装置 1 の出射光である。

- 5 なお、第一前置光ファイバ増幅器 1 2、第一後置光ファイバ増幅器 1 8、第二前置光ファイバ増幅器 2 2 および第二後置光ファイバ増幅器 2 8 のファイバ長の合計は、Lバンドの光を増幅するために最適な長さである。しかも、第一前置光ファイバ増幅器 1 2、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 および第二前置光ファイバ増幅器 2 2 のファイバ長
- 10 の合計は、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 のゲイン、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 のゲインおよび第二前置光ファイバ増幅器 2 2 のゲインを合成した合成ゲインが、第二後置光ファイバ増幅器 2 8 の出射光のノイズをあまり増大させずに、ほぼ一定に保つことができるようにされている。

15

- Cバンドの入射光を増幅する場合、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 および第一後置光ファイバ増幅器 1 8 のファイバ長などを適宜決定することにより、Cバンドの光におけるノイズを低減できる。しかし、この場合、第一前置光ファイバ増幅器 1 2 および第一後置光ファイバ
- 20 増幅器 1 8 によるゲインはわずか数 d B 程度である。よって、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 の出射光をそのまま第二後置光ファイバ増幅器 2 8 に与えれば、第二後置光ファイバ増幅器 2 8 によるノイズが大きく影響し、Lバンドの増幅光のノイズは大きくなる。そこで、第二前置光ファイバ増幅器 2 2 を設けることにより、第二後置光ファイバ
- 25 増幅器 2 8 の前段におけるゲインを大きくする。これにより、第二後置光ファイバ増幅器 2 8 によるノイズの影響を減少させ、Lバンドの

増幅光のノイズを小さくできる。

本発明の実施形態によれば、第一前置光ファイバ増幅器 12 および
第一後置光ファイバ増幅器 18 のファイバ長などを適宜決定すること
5 により、Cバンドの入射光を増幅した光におけるノイズを低くするこ
とができる。しかも、第二前置光ファイバ増幅器 22 を設けることに
より、第二後置光ファイバ増幅器 28 の前段におけるゲインを大きく
したため、Lバンドの入射光を増幅した光におけるノイズをも低くす
ることができる。

10

また、図 5 に、図 1 に示す光増幅装置 1 の構成要素を一部省略した
例を示す。図 5 に示すように、第一前置光ファイバ増幅器 12、第一
前置励起光源 14、第一 WDM カプラ（第一前置励起光導入手段） 1
6、第二前置光ファイバ増幅器 22、第二前置励起光源 24、第二
15 WDM カプラ（第二前置励起光導入手段） 26 および光アイソレータ
42 は省略可能である。第一後置光ファイバ増幅器 18 が第一光ファ
イバ増幅器に、第二後置光ファイバ増幅器 28 が第二光ファイバ増幅
器に相当する。図 5 に示すような構成によれば、第一後置光ファイバ
増幅器 18 および第二後置光ファイバ増幅器 28 は、後置励起光源 3
20 4 により後方励起される（出射側から励起光を受ける）ため、第一
WDM カプラ 16 を省略した分、ノイズを低減できる。

なお、変形例として、第二後置光ファイバ増幅器 28 および第二前
置光ファイバ増幅器 22 の間に、第三前置光ファイバ増幅器 62、第
25 三前置励起光源 64 および第三 WDM カプラ（第三前置励起光導入手
段） 66 を設けてもよい。

図 2 は、本発明の実施形態にかかる光増幅装置 1 の変形例の構成を示す図である。第三前置光ファイバ増幅器 6 2、第三前置励起光源 6 4 および第三 WDM カプラ（第三前置励起光導入手段） 6 6 以外は図 5 1 を参照して説明したとおりであり説明を省略する。

第三前置光ファイバ増幅器 6 2 は、第二前置光ファイバ増幅器 2 2 の出射光を増幅して第二後置光ファイバ増幅器 2 8 に出射する。

10 第三前置励起光源 6 4 は、第三前置光ファイバ増幅器 6 2 に与える第四励起光を生成する。

第三 WDM カプラ（第三前置励起光導入手段） 6 6 は、第三前置励起光源 6 4 から第四励起光を受けて、第三前置光ファイバ増幅器 6 2 に与える。第三 WDM カプラ 6 6 は、第三前置光ファイバ増幅器 6 2 の出射側（入射光を受ける側とは反対側）に接続されている。なお、第三前置光ファイバ増幅器 6 2 の出射光は、第三 WDM カプラ 6 6 を通過する。

20 実施例 1

図 1 を参照して説明した光増幅装置 1 において、第一前置励起光源 1 4、第二前置励起光源 2 4 および後置励起光源 3 4 の生成する光の波長が 980nm であり、第一前置励起光源 1 4 の励起強度が 70mW、第二前置励起光源 2 4 の励起強度が 100mW、後置励起光源 3 4 の励起強度が 100mW であり、光増幅装置 1 に入射する入射光（信号光）の波長が 1610nm であり、入射光（信号光）の強度が -35 dBm で

あるとする。そのときの、波長とゲインとの関係、および波長とノイズ指数との関係を図 3 に示す（実施例）。

- 5 なお、比較例として、第二前置光ファイバ増幅器 2 2 が無いものの例を図 4 に示す。図 4 に示す比較例は、図 1 を参照して説明した光増幅装置 1 から、第二前置光ファイバ増幅器 2 2、第二前置励起光源 2 4 および第二 WDM カプラ 2 6 を取り除いたものである。ただし、後置励起光源 3 4、後置 WDM カプラ 3 6 および光アイソレータ 4 6 は、第一後置光ファイバ増幅器 1 8 と端子 5 1 との間に移動させている。
- 10 また、後置励起光源 3 4、後置 WDM カプラ 3 6 および光アイソレータ 4 6 と同じものである後置励起光源 3 4'、後置 WDM カプラ 3 6' および光アイソレータ 4 6' を、第二後置光ファイバ増幅器 2 8 と端子 5 3 との間に設ける。第一前置励起光源 1 4、第二前置励起光源 2 4 および後置励起光源 3 4 の生成する光の波長、励起強度、光増幅装置 1 に入射する入射光（信号光）の波長、強度は上記の実施例の数値
- 15 と同じである。比較例の、波長とゲインとの関係、および波長とノイズ指数との関係も図 3 に示す（比較例）。

- 図 3 から、実施例の方が、比較例よりも、ゲインおよびノイズ指数
- 20 が小さいことがわかる。よって、実施例の方が、比較例よりも、良い特性を示すことがわかる。

請 求 の 範 囲

1. 入射光を増幅する第一前置光ファイバ増幅器と、
前記第一前置光ファイバ増幅器に与える第一励起光を生成する第一
- 5 前置励起光源と、
前記第一励起光を前記第一前置光ファイバ増幅器に導入する第一前置励起光導入手段と、
前記第一前置光ファイバ増幅器の出射光を増幅する第一後置光ファイバ増幅器と、
- 10 第二前置光ファイバ増幅器と、
前記第二前置光ファイバ増幅器に与える第二励起光を生成する第二前置励起光源と、
前記第二励起光を、前記第二前置光ファイバ増幅器に、入射側とは反対側である出射側から導入する第二前置励起光導入手段と、
- 15 前記第二前置光ファイバ増幅器の出射光を増幅する第二後置光ファイバ増幅器と、
前記第一後置光ファイバ増幅器に与える第三励起光を生成する後置励起光源と、
前記第三励起光を前記第一後置光ファイバ増幅器に導入する後置励
- 20 起光導入手段と、
(1) 前記第一後置光ファイバ増幅器の出射側と前記後置励起光導入手段とを接続する、あるいは(2) 前記第一後置光ファイバ増幅器の出射側と前記第二前置光ファイバ増幅器の入射側とを接続して、前記第一後置光ファイバ増幅器の出射光を前記第二前置光ファイバ増幅
- 25 器によって増幅させる、光接続手段と、
を備えた光増幅装置。

2. 請求項 1 に記載の光増幅装置であって、
前記第一後置光ファイバ増幅器から前記第一前置光ファイバ増幅器
への光を遮断する光遮断手段、
5 備えた光増幅装置。
3. 請求項 1 に記載の光増幅装置であって、
前記光接続手段は、前記第一後置光ファイバ増幅器の出射側と前記
第二前置光ファイバ増幅器の入射側とを接続すると共に、前記第二後
10 置光ファイバ増幅器の出射側と前記後置励起光導入手段とを接続する、
光増幅装置。
4. 請求項 1 に記載の光増幅装置であって、
前記光接続手段が前記第一後置光ファイバ増幅器の出射側と前記後
15 置励起光導入手段とを接続する場合に、前記第一前置光ファイバ増幅
器のゲインが、前記第一後置光ファイバ増幅器におけるノイズを無視
できる程度に大きい、
光増幅装置。
- 20 5. 請求項 4 に記載の光増幅装置であって、
前記光接続手段が前記第一後置光ファイバ増幅器の出射側と前記第
二前置光ファイバ増幅器の入射側とを接続する場合に、前記第一前置
光ファイバ増幅器のゲイン、前記第一後置光ファイバ増幅器のゲイン
および前記第二前置光ファイバ増幅器のゲインを合成した合成ゲイン
25 は、前記第二後置光ファイバ増幅器の出射光のノイズをほぼ保つこと
ができる程度のものである、

光増幅装置。

6. 請求項 1 に記載の光増幅装置であって、

前記光接続手段が前記第一後置光ファイバ増幅器の出射側と前記後
5 置励起光導入手段とを接続する場合に、前記第一後置光ファイバ増幅
器の出射光の波長帯域が C バンドである、

光増幅装置。

7. 請求項 1 に記載の光増幅装置であって、

10 前記光接続手段が前記第一後置光ファイバ増幅器の出射側と前記第
二前置光ファイバ増幅器の入射側とを接続する場合に、前記第二後置
光ファイバ増幅器の出射光の波長帯域が L バンドである、

光増幅装置。

15 8. 請求項 1 に記載の光増幅装置であって、

前記第一前置光ファイバ増幅器、前記第一後置光ファイバ増幅器、
前記第二前置光ファイバ増幅器および前記第二後置光ファイバ増幅器
のいずれか一つ以上が、エルビウム添加光ファイバである、

光増幅装置。

20

9. 請求項 1 に記載の光増幅装置であって、

前記第一前置励起光源、前記第二前置励起光源および前記後置励起
光源の生成する光の波長が 980nm である、

光増幅装置。

25

10. 請求項 1 に記載の光増幅装置であって、

前記第二前置光ファイバ増幅器の出射光を増幅して前記第二後置光ファイバ増幅器に出射する第三前置光ファイバ増幅器と、

前記第三前置光ファイバ増幅器に与える第四励起光を生成する第三前置励起光源と、

- 5 前記第四励起光を、前記第三前置光ファイバ増幅器に、入射側とは反対側である出射側から導入する第三前置励起光導入手段と、
を備えた光増幅装置。

1 1. 入射光を増幅する第一光ファイバ増幅器と、

- 10 第二光ファイバ増幅器と、

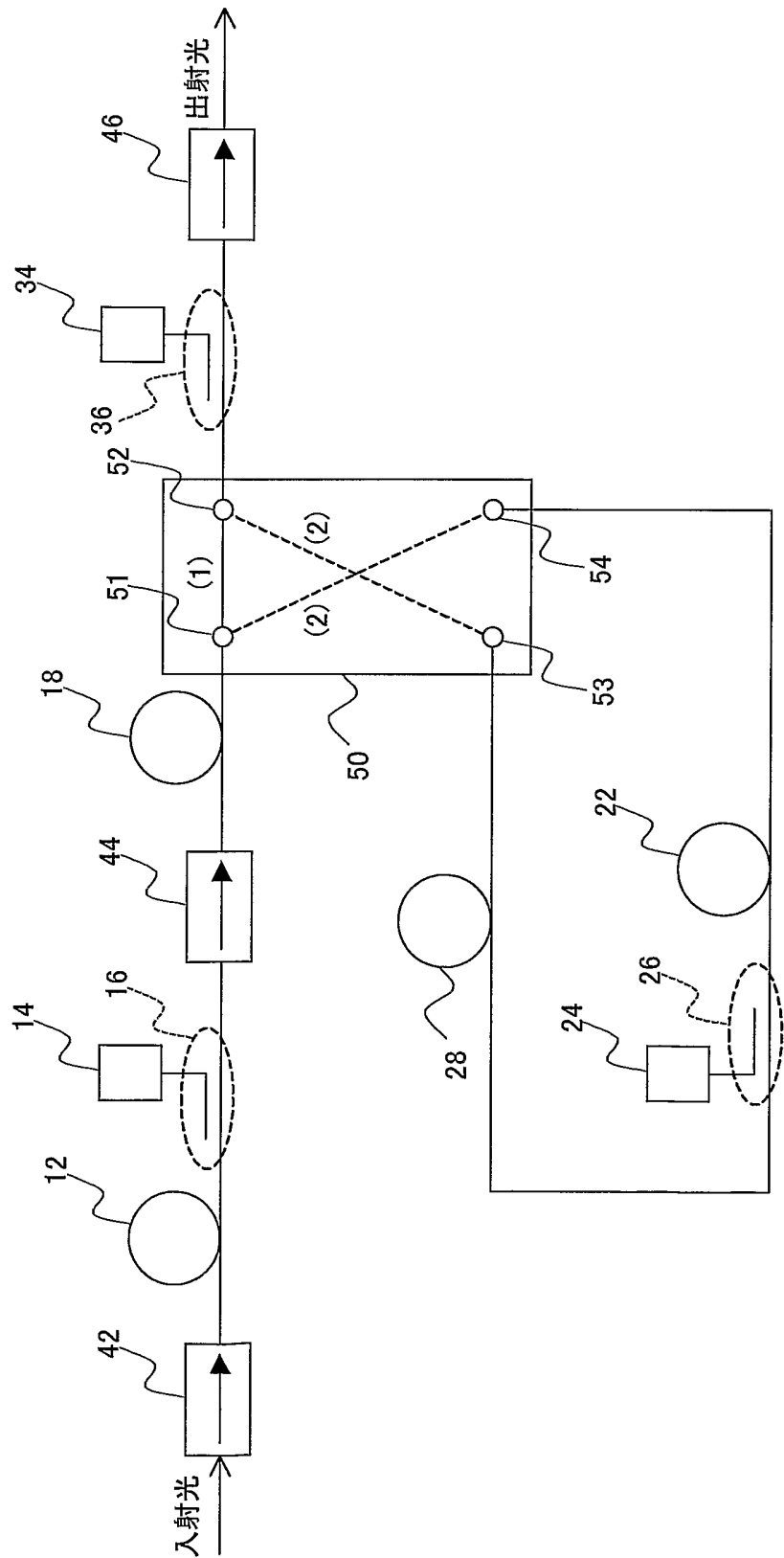
前記第一光ファイバ増幅器に与える励起光を生成する後置励起光源と、

前記励起光を前記第一光ファイバ増幅器に導入する後置励起光導入手段と、

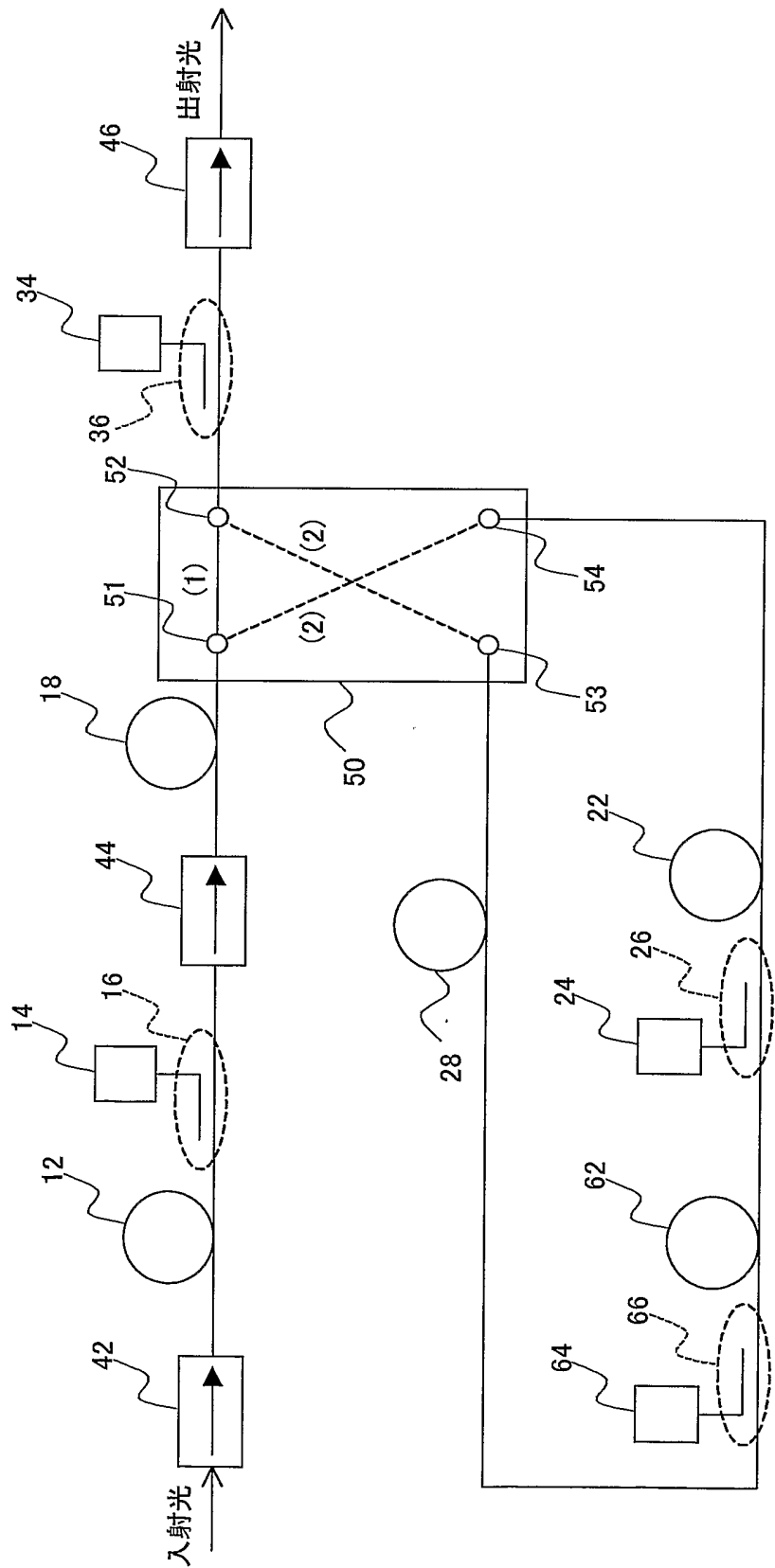
- 15 (1) 前記第一光ファイバ増幅器の出射側と前記後置励起光導入手段とを接続する、あるいは(2) 前記第一光ファイバ増幅器の出射側と前記第二光ファイバ増幅器の入射側とを接続して、前記第一光ファイバ増幅器の出射光を前記第二光ファイバ増幅器によって増幅させる、
光接続手段と、

- 20 を備えた光増幅装置。

第1図

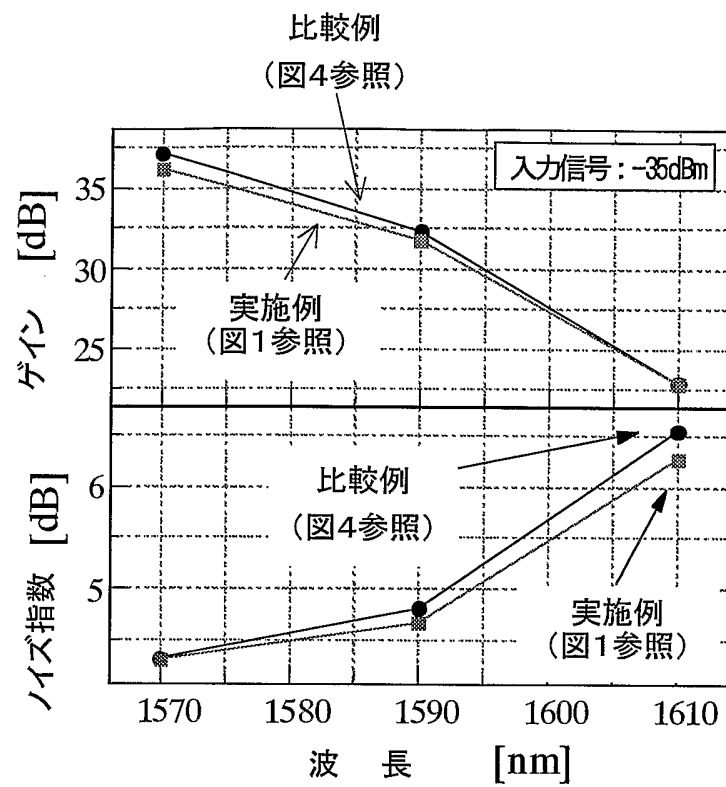


第 2 図

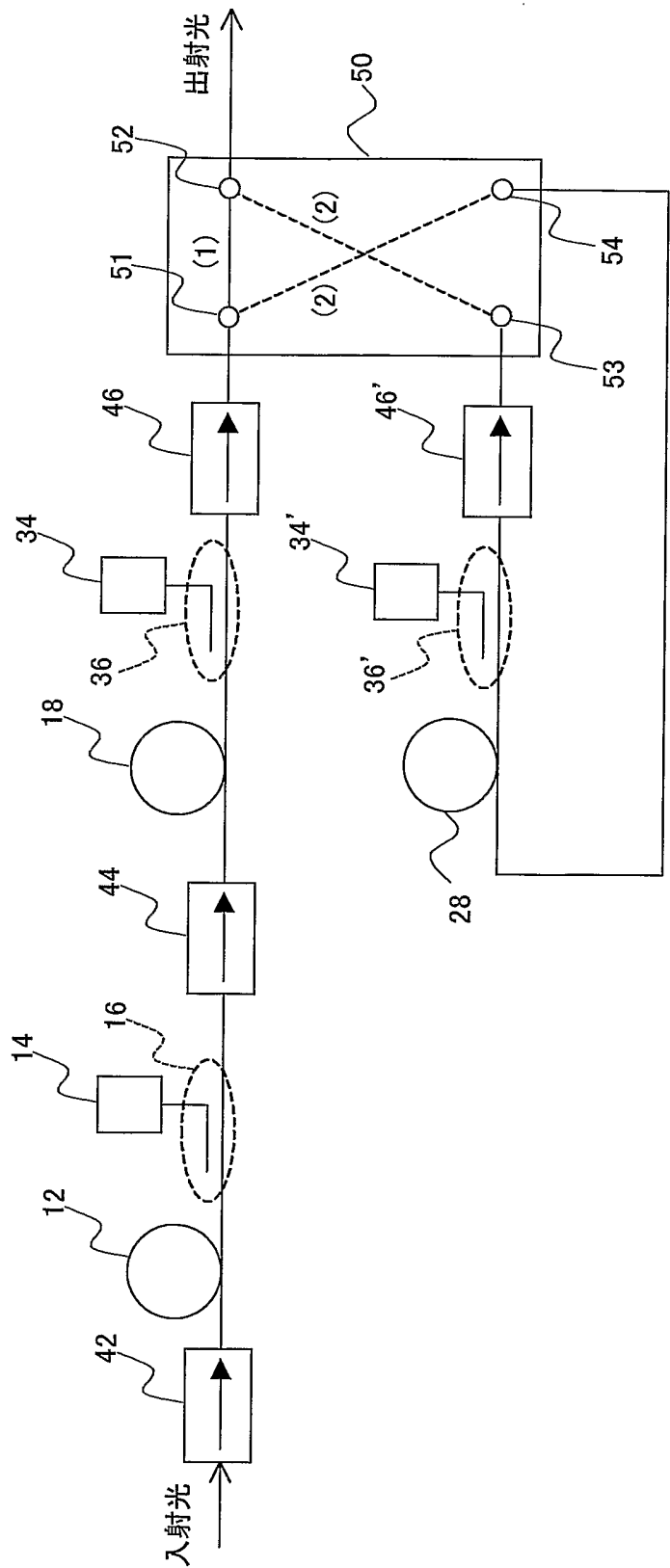


3/5

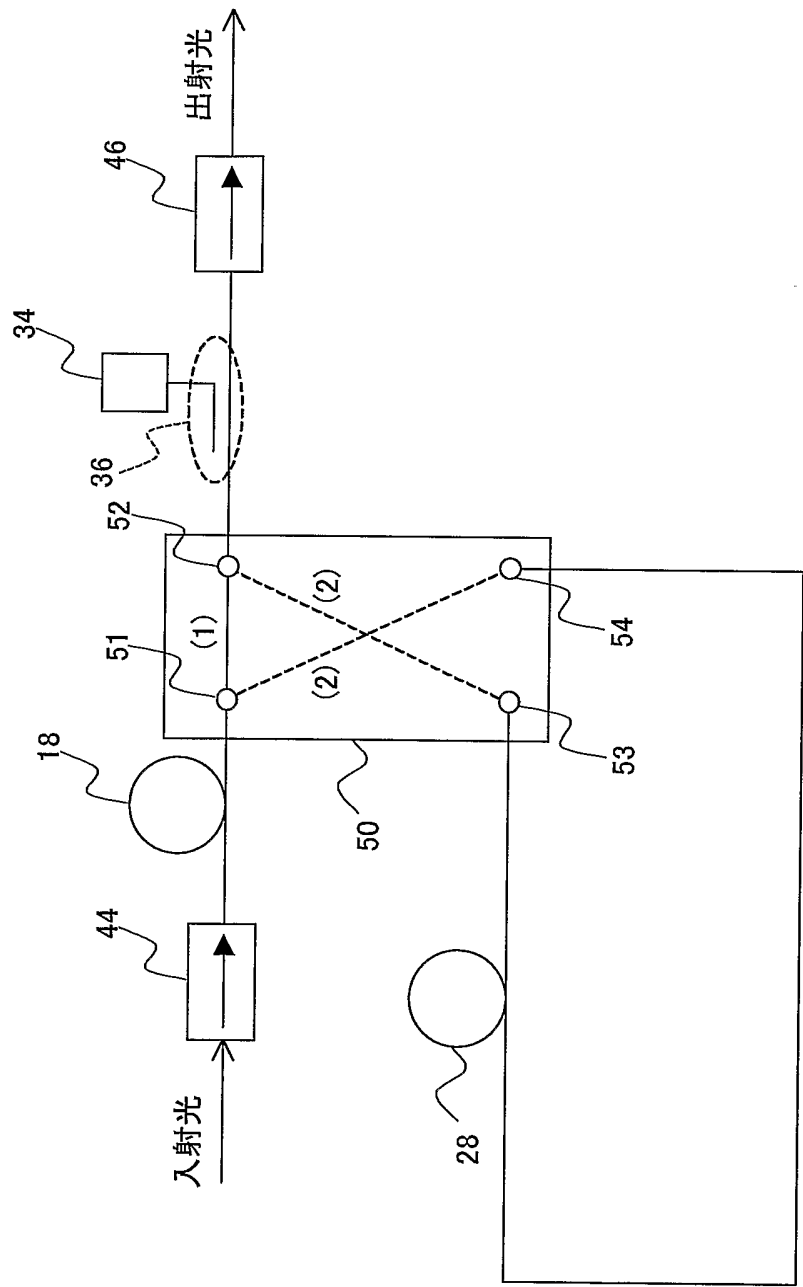
第3図



第 4 図



第 5 图



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/011798

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ H01S3/10, 3/067

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ H01S3/00-3/30

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2004
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2004	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2004

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	US 2001/33411 A1 (Kazunori SHIOTA), 25 October, 2001 (25.10.01), Full text; all drawings & JP 2001-358389 A & GB 2363675 A & DE 10102176 A	11 1-10
Y	MASUDA, H. et al., High gain two-stage amplification with erbium-doped fibre amplifier, Electronics Letters, 1990, Vol.26, No.10, pages 661 to 662	1-10
Y	JP 4-150088 A (Fujitsu Ltd.), 22 May, 1992 (22.05.92), Claims; page 3, upper left column, line 5 to page 5, upper right column, line 4 (Family: none)	1-10

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
16 November, 2004 (16.11.04)

Date of mailing of the international search report
07 December, 2004 (07.12.04)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ H01S3/10, 3/067

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ H01S3/00-3/30

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年
 日本国公開実用新案公報 1971-2004年
 日本国登録実用新案公報 1994-2004年
 日本国実用新案登録公報 1996-2004年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X Y	US 2001/33411 A1 (Kazunori Shiota) 2001. 10. 25 全文, 全図 &JP 2001-358389 A &GB 2363675 A &DE 10102176 A	11 1-10
Y	MASUDA, H. et al. High gain two-stage amplification with erbium-doped fibre amplifier, Electronics Letters, 1990, Vol.26, No10, pp.661-662.	1-10

☒ C欄の続きにも文献が列举されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
 「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

16. 11. 2004

国際調査報告の発送日

07.12.2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)
 郵便番号100-8915
 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

古田 敦浩

2K

3013

電話番号 03-3581-1101 内線 3253

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP 4-150088 A (富士通株式会社) 1992.05.22 特許請求の範囲, 第3頁左上欄第5行-第5頁右上欄第4行 (ファミリーなし)	1-10